

# 【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	37
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	7 防犯・交通安全
施策のめざす姿	市民の自己防衛意識の向上とともに、地域と行政が一体となって犯罪や交通事故を防止する取組を進めた結果、事故や犯罪が減少し、市民は安全なまちで安心して生活しています。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
犯罪年間発生件数(件)【市民協働課】	441	277	308				391	354
交通事故年間発生件数(件)【市民協働課】	223	175	162				199	179

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 犯罪のないまちづくり	市民協働課	市及び警察署、防犯活動団体(防犯協会等)が連携して啓発活動や防犯診断を実施をするとともに、防犯活動協力者(防犯協会・みまもり隊・地域住民等)とともに青色回転灯(青パト)での防犯パトロールを実施した。 犯罪抑止のために地域による見守り、防犯啓発は重要であることから、継続して啓発等を実施する。
2 防犯意識の向上	市民協働課	出前講座や防犯教室を実施し、自己防衛意識や防犯意識の高揚を図った。 津島警察署、防犯協会、地域団体等と連携して、コロナ禍により減少した講座、教室を実施し、自己防衛意識や防犯意識の高揚を図る。
3 交通安全意識の高揚	市民協働課	警察署及び交通関係団体などと協力して、小学校児童へ歩行者・自転車交通安全教室を実施した。また、高齢者には疑似体験型交通安全教室を実施した。交通安全キャンペーン(啓発)等実施し、交通安全意識の高揚を図った。自転車ヘルメット購入費補助し、ヘルメット着用を促進した。 警察署、交通関係団体などと協働して、高齢者、小学校・幼稚園等に対しての交通安全教室や交通安全キャンペーン(啓発)等を実施し、交通安全意識の向上を図る。自転車ヘルメット購入費の補助をし、ヘルメット着用を促進する。
4 交通環境の整備【重点】	市民協働課 都市整備課	・町内会等からの要望書により危険箇所を把握し、交通安全啓発看板等の設置及び関係機関に情報提供を行った。 ・反射鏡、道路照明、防護柵、区画線、路肩カラー、橋りょう点検、補修、通学路緊急対策として歩道設置を行ってきた。 ・交通事故を防止するためにも必要な施策であるため継続して実施する。 ・交通安全施設整備及び、通学路緊急対策として安全対策を行っていく。

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	市及び教育機関、関係市民団体及び関係機関と協力し、防犯教室、防犯パトロール、交通安全教室、交通安全啓発キャンペーン等を通して、自己防衛意識の向上を図るとともに、地域と行政が一体となり、犯罪や交通事故を防止する取り組みを進めた結果、事故や犯罪が減少したことで、市民が安全なまちで安心して生活することができた。	評価
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	少子高齢化や核家族化、コミュニティ意識の希薄化に伴う担い手不足により、地域の犯罪防止啓発活動及び交通安全啓発活動の低下を防ぐため、行政、関係機関及び関係団体が一体となって地域への支援を行う。啓発活動等を通して、防犯及び交通安全への意識の高揚を図る。また、町内会等地域からの危険箇所等の相談・要望について、道路管路者及び関係機関と連携して、交通環境の整備をしていく必要がある。	A
			方針
			継続